



人獣共通感染症リサーチセンター、獣医学研究院 及び水産科学研究院が「ISO17025」の認定を取得

概要：

北海道大学には2つのOIE（国際獣疫事務局）レファレンスラボラトリー（※1）があります。OIEレファレンスラボラトリーは、家畜等の特定の疾病の診断において加盟国への支援を行うためにOIEが指定した研究所で、日本国内には11の疾病について10機関が指定を受けています。北海道大学人獣共通感染症リサーチセンターは鳥インフルエンザの、大学院水産科学研究院はサケ科魚ヘルペスウイルス病のOIEレファレンスラボラトリーとして、これまで国際的な検査体制の一角を担ってきました。このたび、これら2つのレファレンスラボラトリーは、検査や試験の技術能力を証明する国際規格である「ISO17025」（※2）の認定を取得しました（人獣共通感染症リサーチセンターは2017年3月7日付け、水産科学研究院は2017年9月19日付け）。これにより、検査能力の信頼性に国際機関からの裏付けが得られたこととなります。ISO17025認定は北海道大学としては初の事例です。2つのレファレンスラボラトリーは引き続き、国際社会からの信頼に応えながら質の高い検査を提供していきます。

認定取得の経緯：

水産科学研究院所属のチーム（代表：水産科学研究院・笠井久会准教授）は、1993年にOIEサケ科魚ヘルペスウイルス病レファレンスラボラトリーに指定されました。同チームは、サケ科魚類のふ化放流事業並びに養殖産業上の重要課題の一つであるヘルペスウイルス病について、検査だけでなく、防除対策による衛生面の向上と生産安定化に取り組んでいます。これら貢献を通して培った技術と信頼は、地元北海道だけでなく、国際的にも高い評価を得ています。

人獣共通感染症リサーチセンター並びに大学院獣医学研究院の教員らで構成されるチーム（代表：人獣共通感染症リサーチセンター・喜田 宏統括）は、2005年よりOIE鳥インフルエンザレファレンスラボラトリーとして、アジア各国で問題となっている鳥インフルエンザの検査業務に従事しています。レファレンスラボラトリーとしての検査実績は日本国内外で高く評価されており、同チームは環境省の死亡野鳥等調査の確定検査機関としても指定されています。また、研究面でも日本国内やモンゴル、ベトナムでサーベイランス調査を行うなど、国際共同研究を積極的に推進しています。

いずれのレファレンスラボラトリーも、ウイルス感染症という国境のない課題に取り組んでいる研究室が母体となっており、地道な研究活動とその継続のための努力がOIEによるレファレンスラ

ボラトリーの指定と、今回の ISO17025 認定につながったと言えます。いずれのチームも、大学生・大学院生教育に携わる大学教員から構成されているため、国際認証を受けた検査体制から得られた知見を教育現場にフィードバックしています。また、北海道大学における検査・教育体制の強化だけでなく、海外で次世代のレファレンスラボラトリーを育てる事業である OIE ツイニングにも積極的に参加するなど、教育・研究・国際貢献が三位一体となった大学ならではのアプローチで、これからも引き続き国際社会での役割を果たしていきます。

お問い合わせ先

<OIE 鳥インフルエンザレファレンスラボラトリーの「ISO17025」取得について>

北海道大学大学院獣医学研究院・教授・迫田 義博（さこだ よしひろ）

TEL : 011-706-5207 FAX : 011-706-5208 E-mail : iso17025@czc.hokudai.ac.jp

<OIE サケ科魚ヘルペスウイルス病レファレンスラボラトリーの「ISO17025」取得について>

北海道大学大学院水産科学研究院・准教授・笠井 久会（かさい ひさえ）

TEL : 0138-40-8898 FAX : 0138-40-8810 E-mail : hisae@fish.hokudai.ac.jp

【用語解説】

※1 OIE レファレンスラボラトリー

OIE レファレンスラボラトリーは、OIE(国際獣疫事務局)によって指定された研究者・研究機関に与えられる名前であり、動物疾病の診断及び診断方法に関する助言や診断に利用する標準株・診断試薬の保管などを行っている。38 カ国, 267 施設(2017 年 5 月末時点)が指定されている。

参考 : <http://www.maff.go.jp/j/syouan/kijun/wto-sps/oie4.html>

※2 ISO17025

試験所・校正機関が正確な測定/校正結果を生み出す能力があるかどうかを、第三者認定機関が認定する国際規格。“試験所認定”とも呼ばれ、製品検査や分析・測定などを行う試験所及び計測機器の校正業務を行う校正機関に対する要求事項が定められている。今回、北海道大学の 2 つの OIE レファレンスラボラトリーは試験所として認定された。